

令和8年度 全国工業高等学校長協会
第74回研究協議会 千葉大会

地元・地域に根差し、これからの
時代に必要とされる工業教育

～ 学習で身につけた技術・技能を還元
することで自信につなげる ～

令和8年10月16日（金）
佐賀県立唐津工業高等学校
校長 神近 正



唐津工業高等学校



福岡県

佐賀県

大分県

長崎県

熊本県

宮崎県

鹿児島県

沖縄県



佐賀県立唐津工業高等学校 沿革

1944年の創立から現在まで、地域のものづくりを支える伝統とあゆみ

- 1944年（昭和19年）**
4月1日 県立唐津工業学校 開校（機械科、土木科を設置）
- 1948年（昭和23年）**
4月1日 学制改革に伴い、県立唐津実業高等学校と改称
- 1962年（昭和37年）**
4月1日 実業高から分離独立し、佐賀県立唐津工業高等学校 開校
（機械科・電気科・土木科の3科体制で新スタート）
- 1963年（昭和38年）**
1月15日 現在の校地（唐津市石志地区）へ移転を完了
- 1997年（平成9年）**
4月1日 建築科を新設（現行の全日制4学科体制が確立）
- 2024年（令和6年）**
11月9日 多くの来賓や卒業生を迎え、創立80周年記念式典を挙
行

 伝統の証（卒業生総数）

12,454 名

昭和19年の開校以来、数多くの優れた技術者・産業人材を育成。佐賀県内外を問わず多大な社会貢献を続けています。

 設置学科と募集定員（現行）

各学科定員は40名（1学年計 160名）となり、専門性の極めて高い教育カリキュラムを実践しています。

機械科

定員 40名

電気科

定員 40名

土木科

定員 40名

建築科

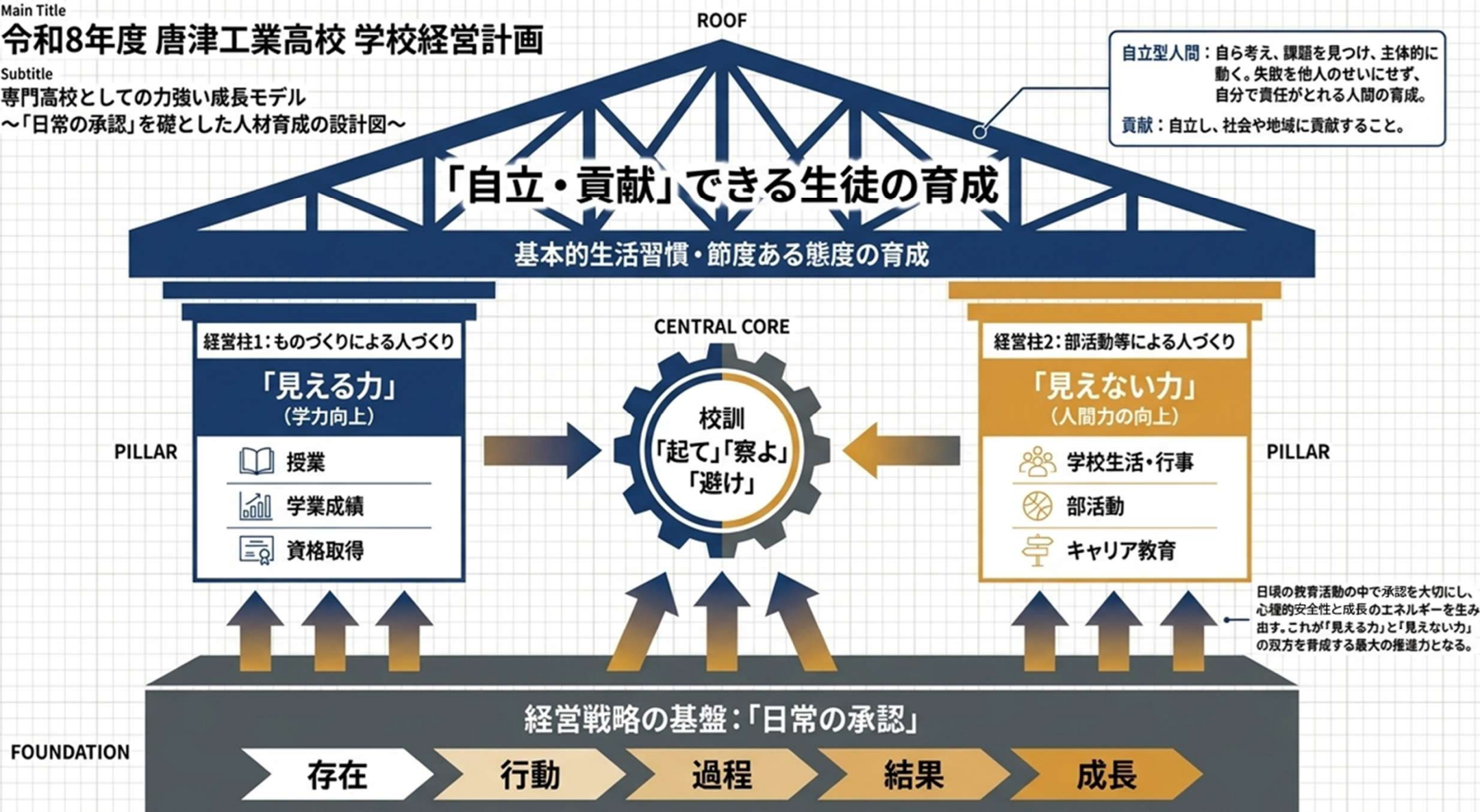
定員 40名

Main Title

令和8年度 唐津工業高校 学校経営計画

Subtitle

専門高校としての力強い成長モデル
～「日常の承認」を礎とした人材育成の設計図～



人材育成を支える組織体制

全教職員数 **75名**

学校運営・教壇指導

42名

校長 (1)
教頭 (1)
指導教諭 (2)
教諭 (36)
講師 (2)

専門実習・技術指導

11名

実習教諭 (6)
実習教師 (1)
実習助手 (4)

学校運営・事務・施設

15名

事務長 (1)
事務主任 (1)
主査 (1)
主事 (1)
臨任主事 (1)
学校技師 (1)
会計年度任用職員 (6)
会計年度職員非常勤講師 (3)

保健・健康支援

7名

養護教諭 (1)
養護助教諭 (1)
学校医 (4)
学校薬剤師 (1)

多様な専門職が連携し、生徒の「ものづくり」と学校生活を包括的にサポートする強固な体制。

柱1：ヒューマンスキルトレーニング（心の介入）

Intervention Cycle

多様な視点

年間13回の作問

朝のHR



テーマ出題者13名。校長、教頭、養護教諭から、機械・電気・土木・建築の各科主任まで、学校全体の多角的な視点を集約。



道徳的価値を含んだオリジナルワークシートの作成。



1日の始まりに、自己を見つめ直す静かな時間を確保。

Core Insight

単なる道徳の授業ではなく、学校全体の大人たち（教職員）からの「問いかけ」のシャワーを年間を通じて浴びせるシステム。

ケーススタディ1: 「どんな大人になりたいか」

Core Message (核心となる教え)

「大人になる」とは年齢を重ねることではない。自分で考え、判断し、行動し、その結果に責任をもつこと。

「どんな大人になりたいか」

君たちは毎日、学校で学び、友だちと関わり、失敗や成功を重ねながら成長している。今はまだ実感がわかないかもしれないが、その一日一日の積み重ねが、将来の自分をつくっていく。

「大人になる」とは、年齢を重ねることだけではない。自分で考え、判断し、行動し、その結果に責任をもつことができるようになることだ。また、周りの人の気持ちを想像し、支え合いながら社会の一員として生きていくこともある。

どんな仕事をしているか、有るかどうよりも、どんな考え方をし、どんな姿勢で生きているかが、その人らしさを決める。困っている人に手を差し伸べられる大人、自分の弱さと向き合える大人、失敗してもあきらめずに挑戦できる大人——大人の姿は一つではない。

小説『山月記』に次のような一節がある。「人生は何事をもなさぬには余りに長い、何事かをなすにはあまりに短い。若い君たちもすぐに年を重ね大人になる。今の自分が大切にしていること、これから大切にしたいことは何だろうか。10年後、20年後の自分が、周りの人からどんな人だと思われていたらうれしいだろうか。君たちは、どんな大人に魅力を感じるだろうか。これからの生き方を考えるヒントとして、「どんな大人になりたいか」を、ぜひ自分の言葉で表してほしい。

Trigger Material (思考の起爆剤)

小説『山月記』の一節。「人生は何事をもなさぬには余りに長い、何事かをなすにはあまりに短い」

Reflection Prompt (生徒への問い)

10年後、20年後の自分が、周りの人からどんな人だと思われていたら嬉しいか？自分の言葉で表してほしい。

ケーススタディ2：「言葉の力」と共感の波及



Negative Input (緊張の発生)

混雑したレジ。怒鳴る客。「何し
とんねん。トロイんじゃ」。店内が
一瞬にしてトゲトゲしい雰囲気。

Positive Absorber (言葉による救済)

70 歳くらいのおじいちゃんの声か
け。「お姉ちゃんはエライな。笑顔
で接してくれた。ありがとう」。

Resolution (浄化と和らぎ)

店員の涙と、トゲトゲしかった店内
の雰囲気が一瞬にして和らぐ現象。



「言葉が人を傷つけ、言葉で救われることがある」。あなたは、今からどのような言葉を発していきたいか？

柱2：新入生基礎学力補習「数学会」（知の介入）

基礎学力（計算力）の乏しさ



専門教科の成績不振・学習意欲の低下



近年でも就職・進学試験での敗北



数学会による早期対策

専門教科の成績向上のためにも、学習の基本である「計算力」の底上げを強行する。学力向上は就職進学戦勝ち抜くための必須条件。

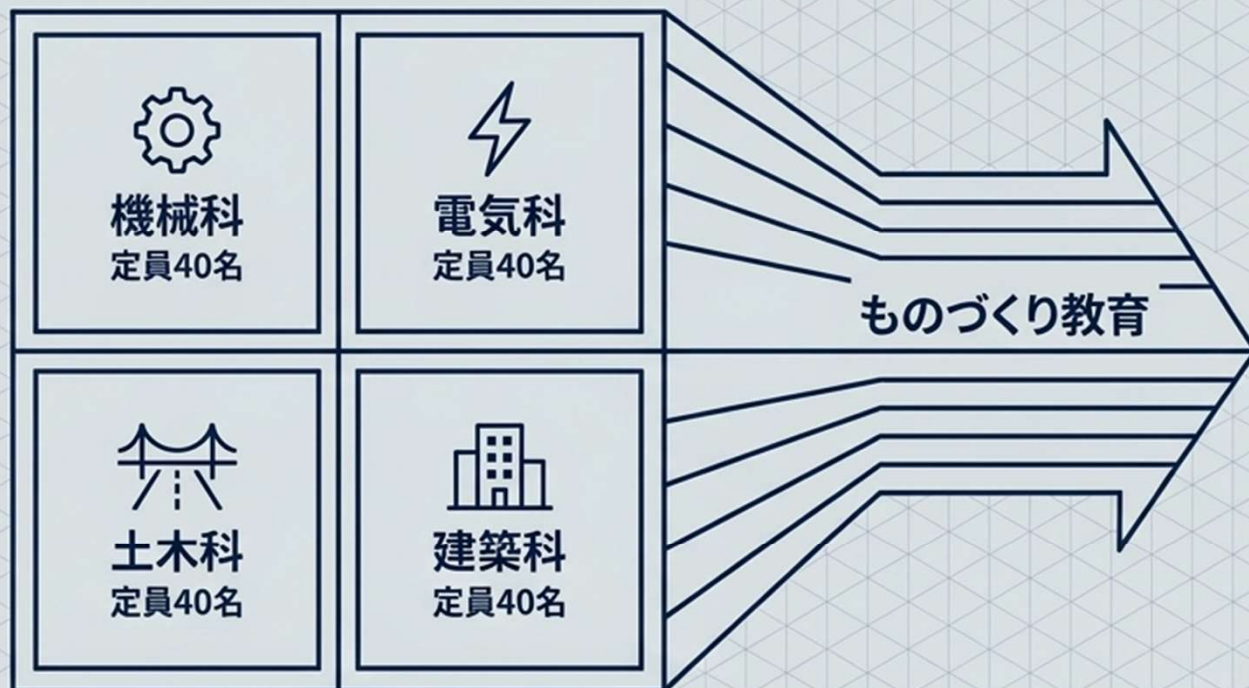
専門教育の構造とアウトプット

Input

Process

Output

1学年計160名の専門カリキュラム

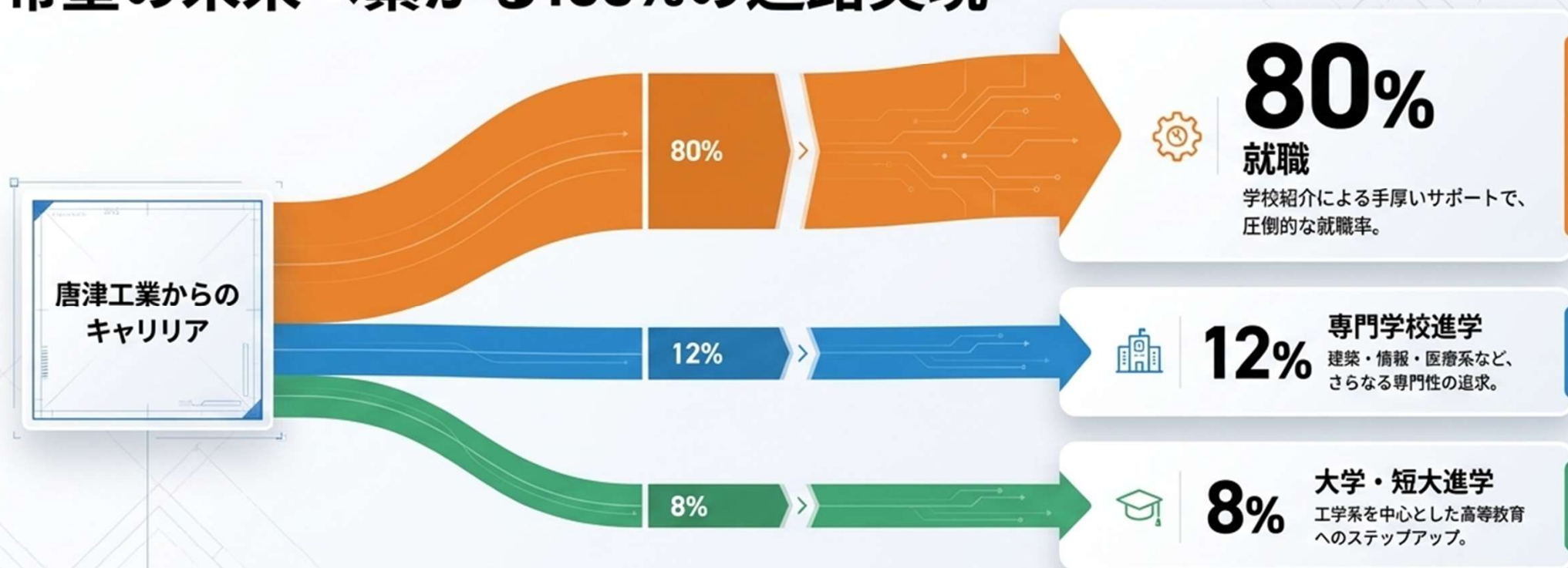


卒業生総数

12,454名

昭和19年の開校以来、数多くの優れた技術者・産業人材を育成。佐賀県内外を問わず多大な社会貢献を続けています。

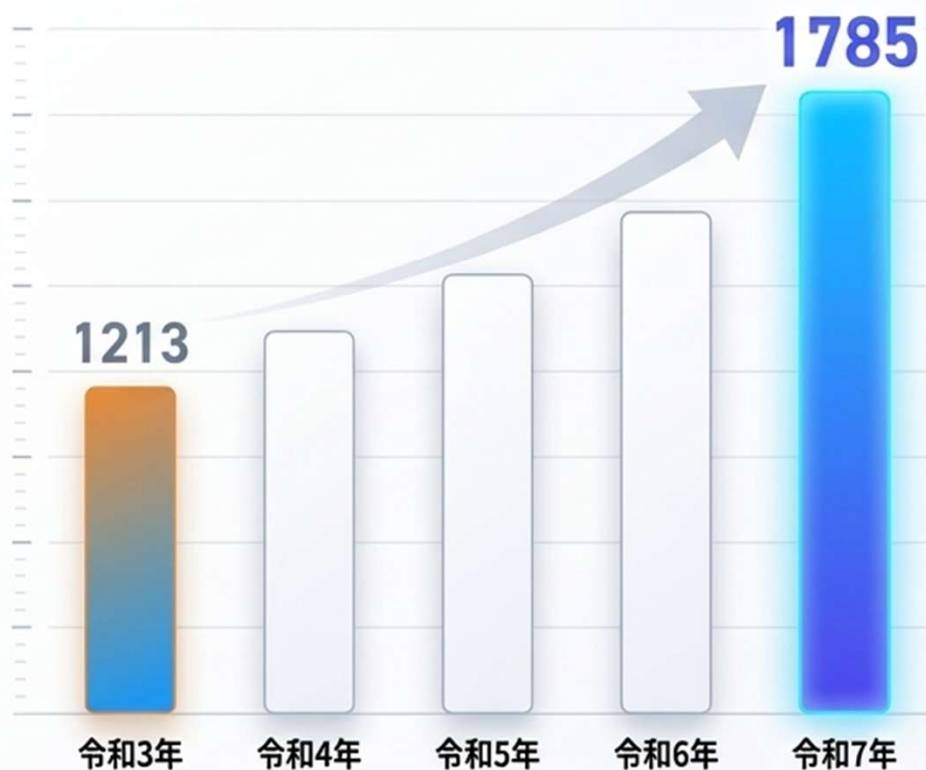
就職にも、進学にも強い。 希望の未来へ繋がる100%の進路実現



単なる「就職校」ではなく、
あらゆる選択肢を選べる「キャリアのハブ」

地元優良企業から世界的大手まで。過去5年間で急増する社会からのオファー

過去5年間の求人企業数推移



県外大手企業

TSMC

トヨタ自動車九州

住友林業

九州電力

JR九州

九電工

大和ハウス

日産自動車

SUBARU

地元・県内企業

SUMCO

名村造船所

唐津土建

公務員・大学

佐賀県庁

唐津市役所

自衛隊

佐賀大学

福岡工業大学

身体を鍛え、心を磨く：運動部



バスケットボール部：県高校総体 第3位

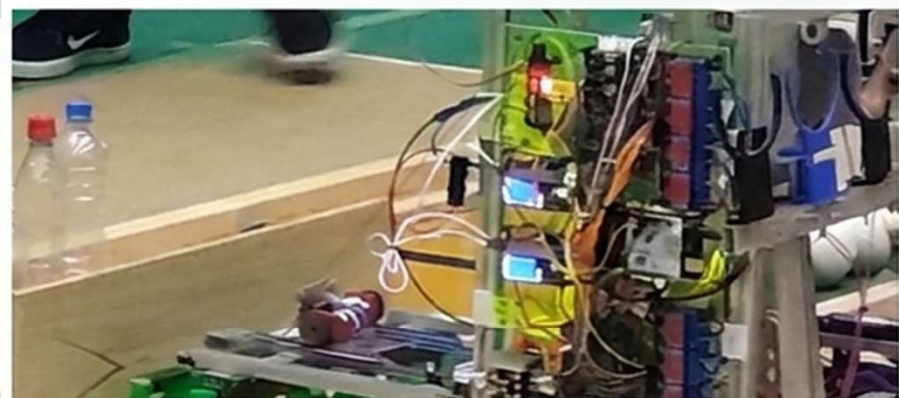
駅伝部：県高校総体 第3位

野球部：唐津市長旗 優勝（2連覇）

陸上，柔道，剣道，バレーボール，
ソフトテニス，サッカー，弓道，
バドミントン，ヨット，卓球，駅伝



技術を極め、地域に貢献する：文化部



全7つの文化・技術部



機械研究



美術



電気研究



図書



土木研究



吹奏楽

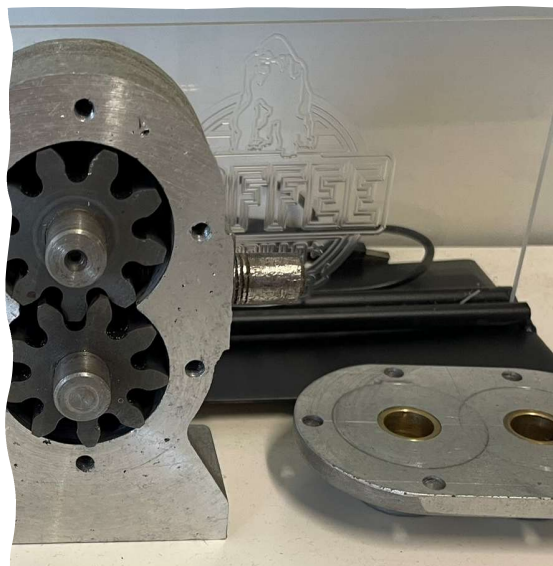


建築研究

部活動の枠を超え、コンテスト出場や地域貢献活動を通じて高度な専門性を追求。

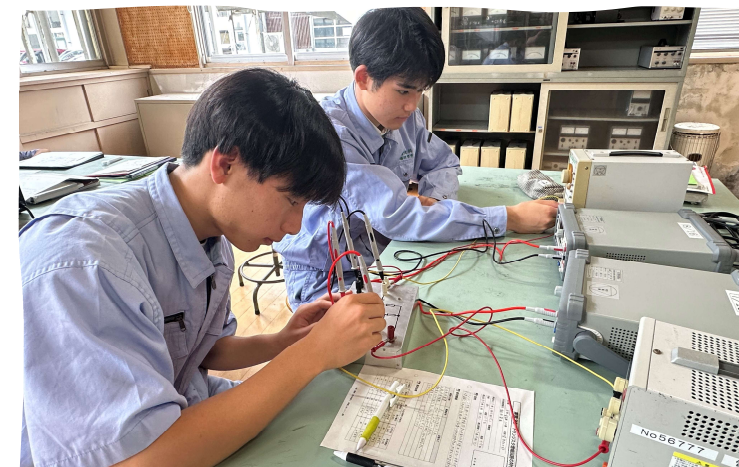
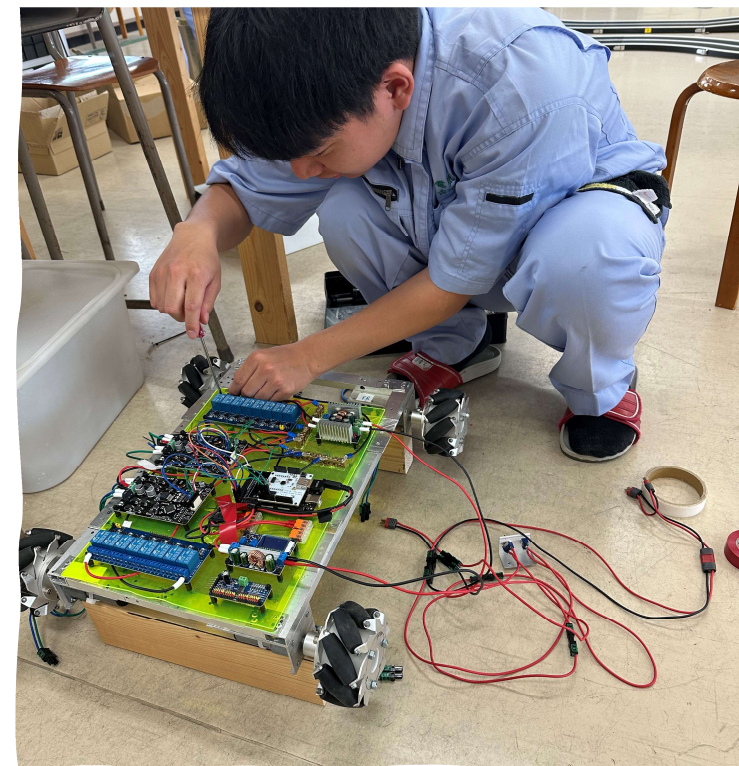
機械科

- 金属加工
- 溶接
- 旋盤
- 鋳造



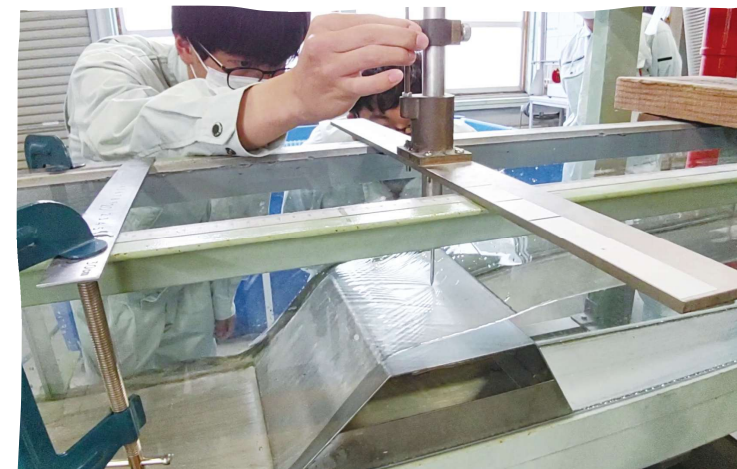
電気科

- ・ 電子回路
- ・ 情報通信
- ・ 発電送配電



土木科

- ・ 測量
- ・ 土木施工



建築科

- ・ 木材加工
- ・ 設計
- ・ 施工



地域社会を支える 「ものづくりエコシステム」

企業・産業

JR九州(イベント用ミニトレイン)

地元企業(社屋改築設計)

玄海町次世代エネルギーパーク

工業高校

教育・次世代

鬼塚小学校交流会

特別支援学校交流

養護施設へのおもちゃ製作

鬼塚中学校駐輪場整備

各種ふれあい祭り(北波多, 鬼塚)

唐津市役所(SAGA2024)

浜野浦棚田プロジェクト

佐志校区プランター寄贈

行政・市民

地域を教室にする：実践的PBL（課題解決型学習）の展開

Phase 1: 学内基盤

専門知識と高度な
設備を用いた
基礎理論と実習

Phase 2: 地域課題 (Catalyst)

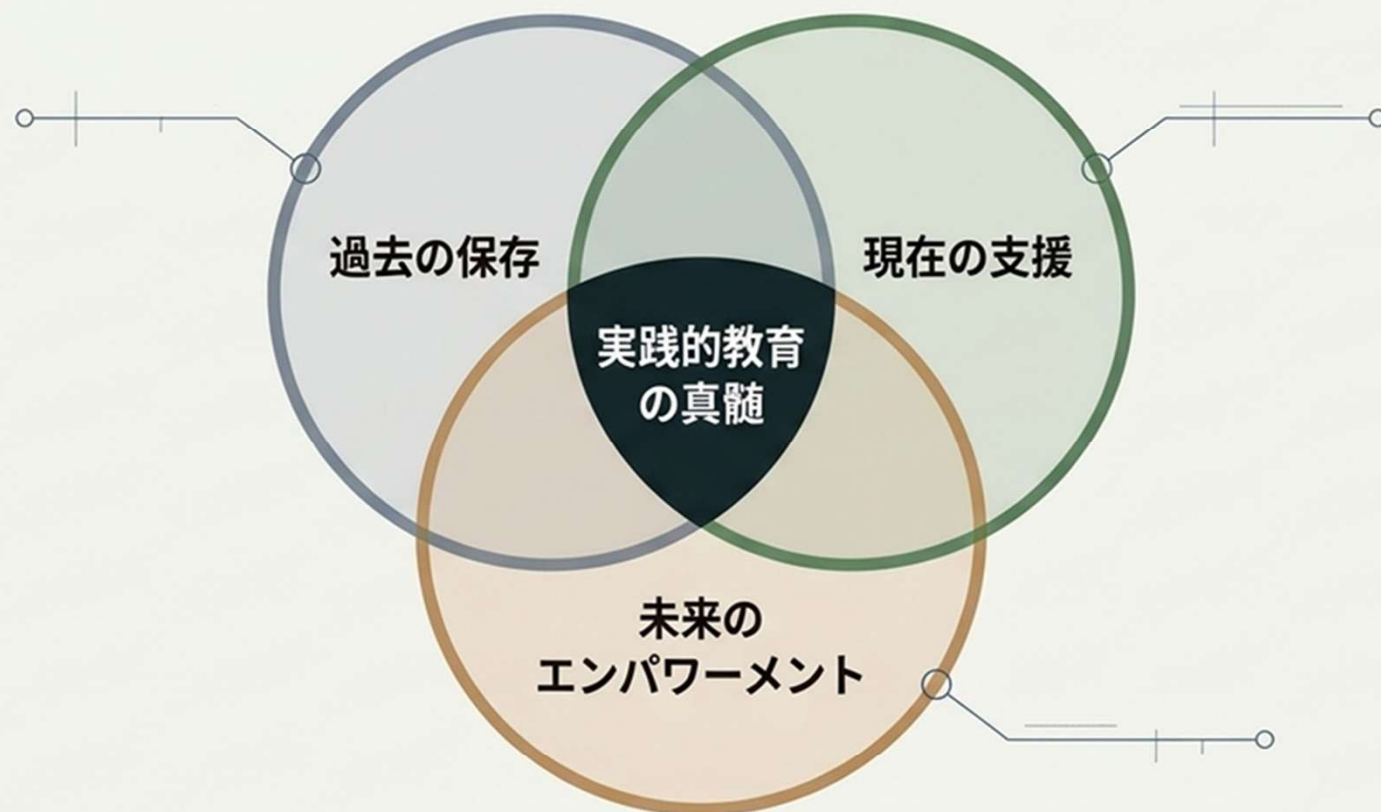
地元企業や地域
インフラが抱える
リアルなニーズとの接点

Phase 3: 生徒主体の解決

構想から実装まで、
プロフェッショナルな
ワークフローを通じた
解決策の提示

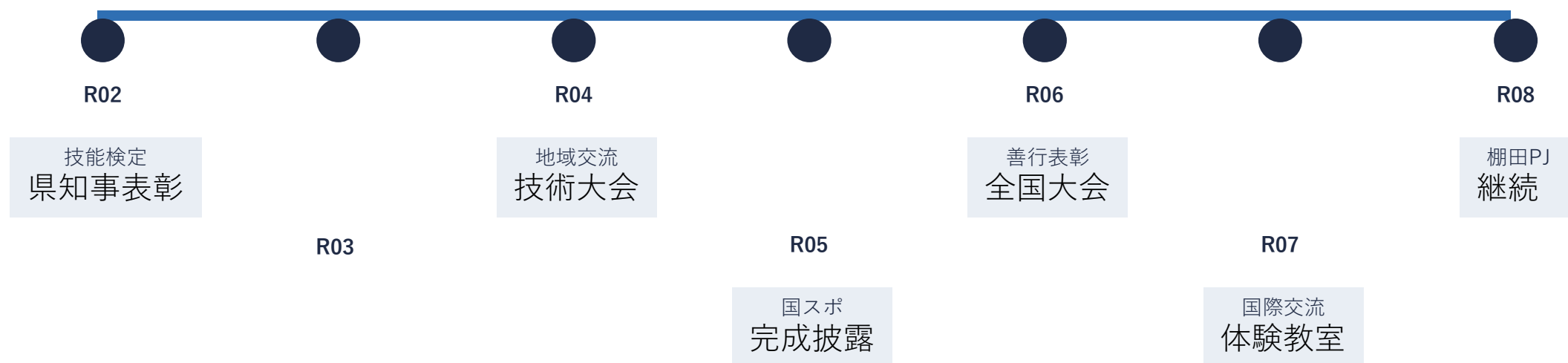
プロの現場をシミュレーションし、就職後即戦力となる 経験値を増やす。

結論：地域を創る手が、次世代の職人を育てる



唐津工業高校の取り組みは、単なる『モノの寄贈』ではありません。地域というリアルなキャンバスに自らの技術を描き出すことで、生徒たちは『社会を動かす力』を学んでいます。地域の課題解決が、最高の実践教育！！

地域と歩む ものづくり教育の歩み（令和2年度～令和8年度）

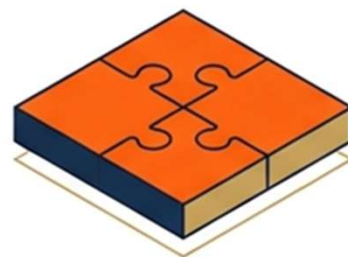
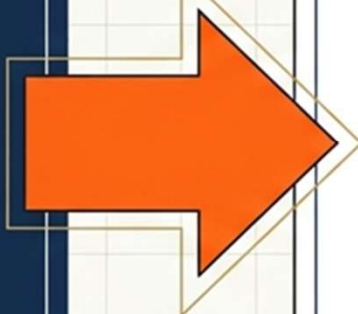


単なる「製作」から「地域課題の解決」へ



地域の課題

- ・老朽化した設備の更新
- ・次世代への技術継承
- ・大規模イベントの記念品



私たちのソリューション

- ✓ 全科横断的な技術力による課題解決
- ✓ 「クライアントワーク」を通じた実践的教育

ものづくりは、地域社会のニーズと生徒の成長を直結させる最強のインターフェースです。

水車の完成と設置式

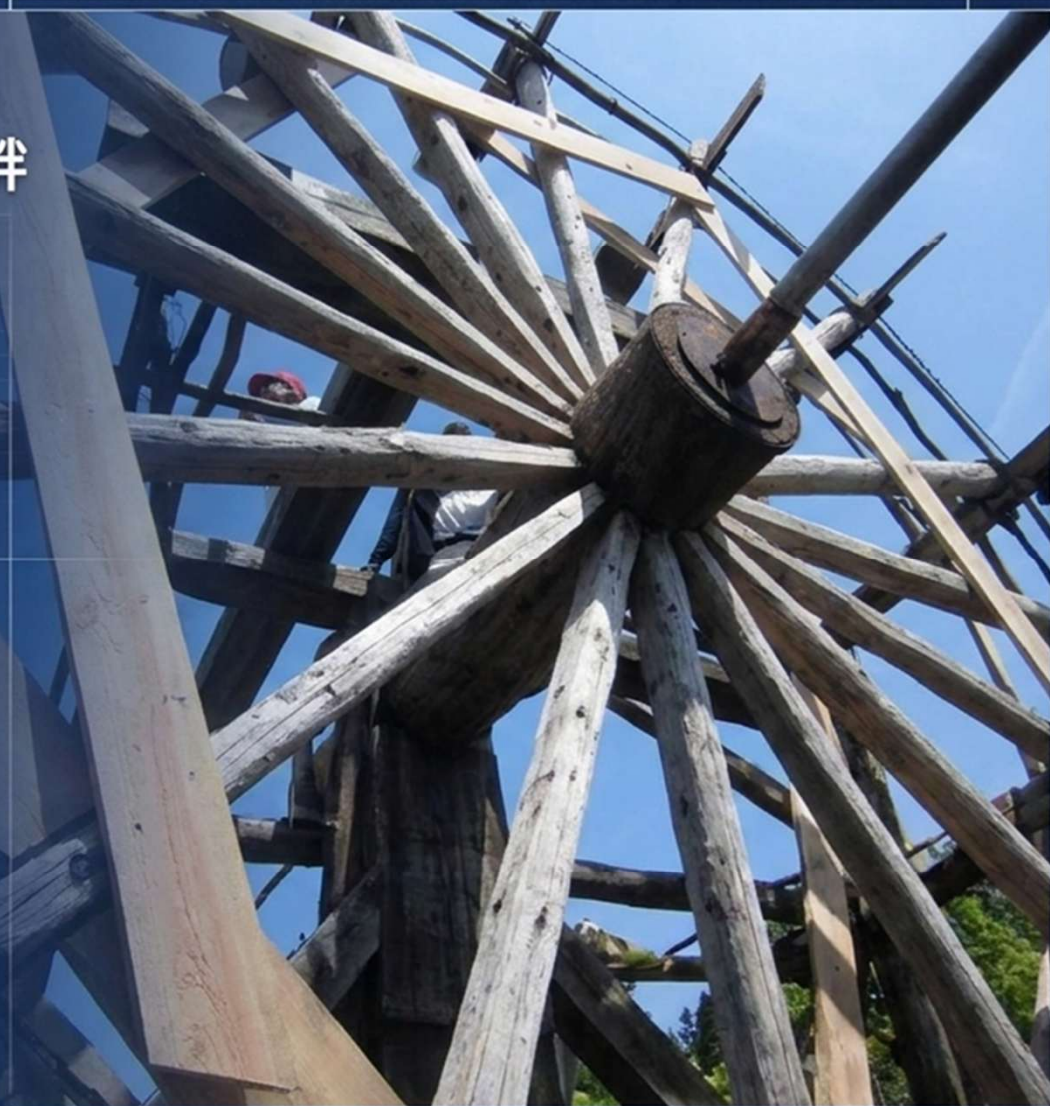
—— 実習で培った技術の結晶と地域の絆

直径：3.5 m

重量：約 150 kg

5月17日 設置式 完遂

- ・総勢50名の力：生徒と関係者が結集し、巨大な木製水車を所定の位置へ設置。
- ・確かな成果：実習でひたむきに磨き上げた技術が、一つの巨大な「形」となり、地域に根づく。製作から設置までをやり遂げた大きな達成感の共有。



水車の製作工程と技術の継承 —— 細部へのこだわりと安全への配慮

【第1工程】
製材

【第2工程】
腕木の加工



【第3工程】
柄杓の製作

【第4工程】
胴木の加工

精度の追求

組みのズレは妥協せず、ノコギリを用いた微調整で完璧な噛み合わせを実現。



安全と使い手への配慮

カンナやヤスリを駆使した丁寧な面取りを実施。地域の人々が触れても怪我をしないよう、徹底した安全性の確保。





教室から地域へ：唐津工業高校が 描く「技術と貢献」の軌跡

ものづくりを通じた地域創生と歴史的記憶の継承

2024年 | 佐賀県立唐津工業高等学校

2つのアプローチ：現在を支え、過去を保存する

【現在・未来】観光と自然の維持

玄海町・浜野浦の 棚田プロジェクト

農業景観の保全と若年層の誘客



木工加工 × キャラクターデザイン

【過去】歴史的記憶の復元と継承

唐津市・唐津近松座 プロジェクト

失われた近代建築の
精密な再現と教育的展示



建築史研究 × 精密縮尺模型

多角的な地域貢献：2つのプロジェクトの構造的比較

	浜野浦の棚田プロジェクト	唐津近松座プロジェクト
貢献の対象	現代の自然環境と観光産業	過去の歴史的建造物と文化記憶
活用された専門技術	木材加工、イラストレーション、UXデザイン	建築史調査、CAD/製図、精密縮尺造形
生み出された社会的価値	募金を通じた直接的な経済支援と、来訪者の満足度向上	市民への郷土史教育と、失われた景観の視覚的復元

昼も夜も魅了する「恋人の聖地」へ。唐津工業高校 浜野浦の棚田プロジェクト



【モノづくり】想いを形にする技術

- 精巧な木工作業による立体的な看板制作
- 地域キャラクターの魅力的なデザイン表現

唐津工業高校生の
「技術力」と「創造力」が融合。
手作りの温もり（昼）と
幻想的な光（夜）で、玄海町力を
昼夜問わず発信しています。



【空間づくり】記憶に残る光の演出

- 棚田を彩る壮大なイルミネーション装飾
- ハート型LEDオブジェによるフォトスポット創出

事例1：観光客の心を掴む「ポップカルチャー×伝統木工」

空間の定義付け

「佐賀県玄海町 浜野浦の棚田」「恋人の聖地 夕日に愛されたまち♪」という立体的な切り文字が、訪問者の記念撮影スポットとしての価値を高める。



継続的な関与

「令和 年 月 日」と訪問者が日付を入れられる工夫。一度きりの消費ではなく、記憶に残る体験を設計。

若年層へのアプローチ

生徒自身がデザインしたオリジナルキャラクターと動物のモチーフ。伝統的な木工技術にポップカルチャーの要素を融合させ、幅広い世代の共感を呼ぶ。

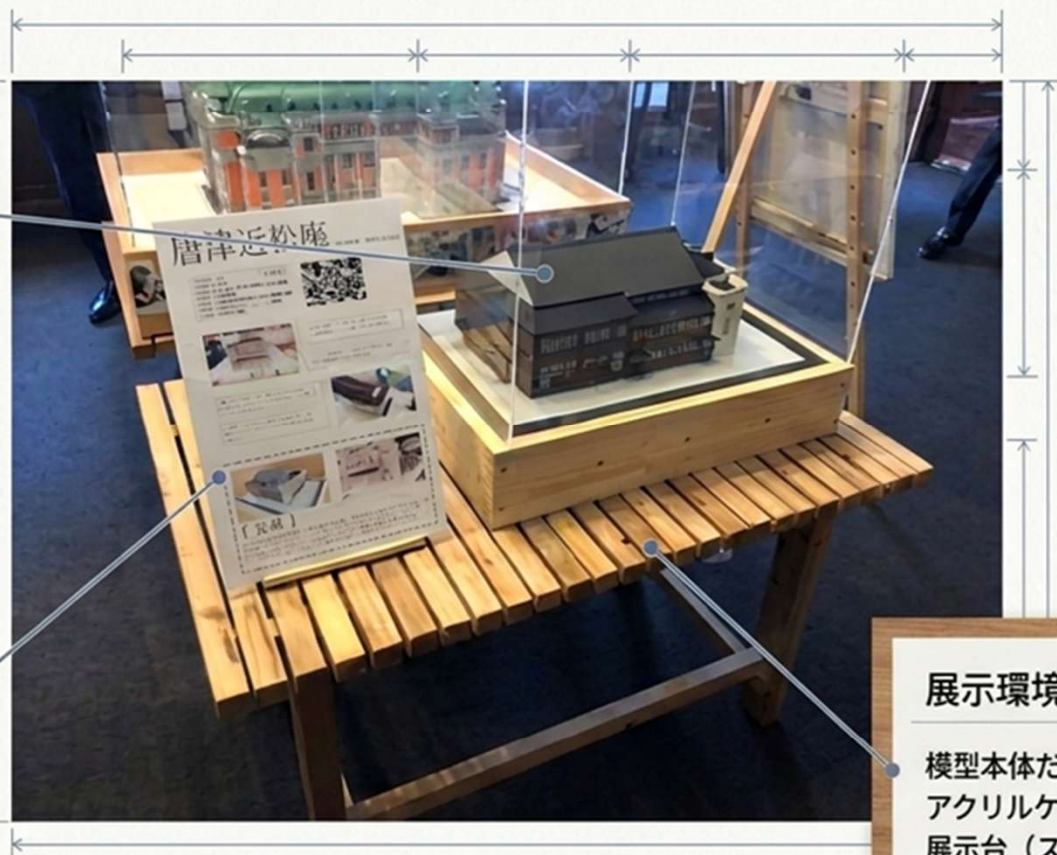
事例2：失われた近代建築の息吹を呼び覚ます精密模型

圧倒的なディテールと再現性

瓦の一枚一枚、窓の格子に至るまで、残されたわずかな資料から当時の姿を忠実に立体化。技術高校生としての高い空間把握能力と加工精度を証明。

研究成果の可視化

単なる模型制作に留まらず、歴史的背景を解説するパネルを同時に作成。QRコードを配置し、鑑賞者がさらに深い情報へアクセスできる教育的配慮。

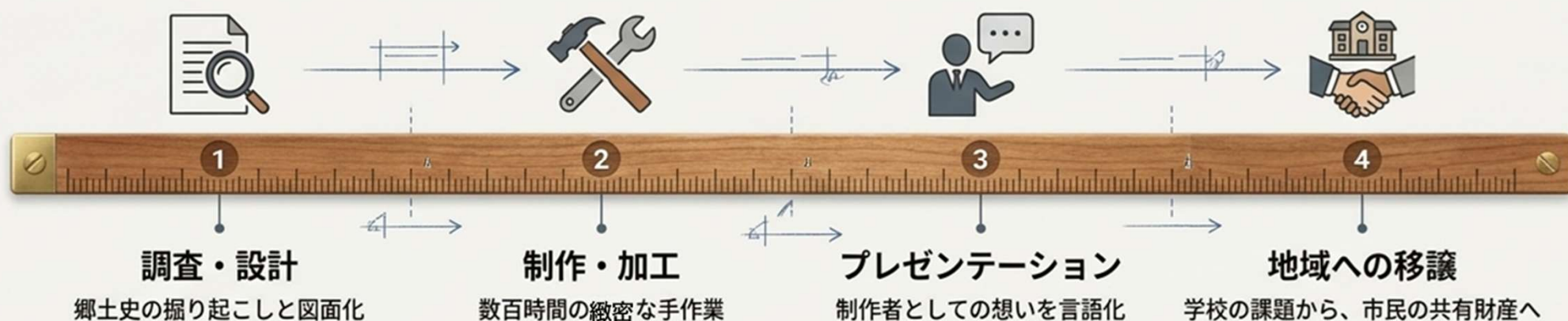


展示環境の総合プロデュース

模型本体だけでなく、それを保護するアクリルケースや、温かみのある木製展示台（スノコ状の意匠）もトータルで設計・制作。

事例2：教室の成果が、市の歴史的財産へと昇華する瞬間

厳かな歴史的空間（旧唐津銀行等）での披露会。制服姿の生徒たちが、大人たちの前で堂々と成果を発表する姿。



次世代育成：全科横断型アプローチ

鬼塚小学校 4年生とのものづくり交流会（小高連携）

機械科



技術・ツール: 卓上旋盤



成果物: オリジナルキーホルダー

電気科



技術・ツール: プログラミング



成果物: デジタルゲーム

土木科



技術・ツール: ドローン操縦



成果物: 飛行体験

建築科



技術・ツール: 木材加工



成果物: 鉛筆立て・名前札入れ

4つの異なる技術領域を一度に体験させることで、児童の多角的な好奇心を刺激します。

継続的支援：複数年にわたる課題解決プロセス

鬼塚中学校 駐輪場の部品製作【土木科】

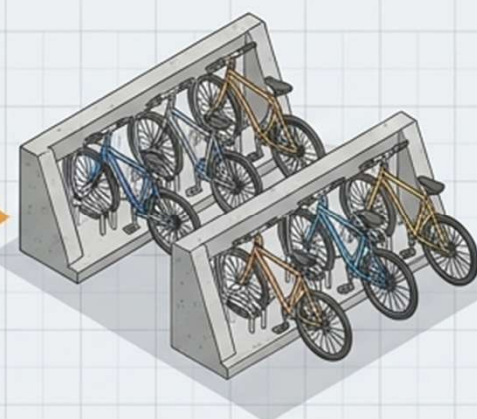
継続的製作プロセス
(令和4年度～現在)



強風による自転車転倒問題
(校長先生からの直接の相談)



- 課題研究テーマとしての採用
- 単年では完了しない規模の依頼に対し、複数年の生徒が継続して製作・寄贈を実施



地域インフラの長期的な
保守・改善を高校生が
担うモデルケース

設計図から現実へ：唐津工業高校が支えるSAGA2024と地域社会

建築科・建築研究部の確かな技術（量産技術・精密加工）が、大会の成功と街づくりに直結する。

大会の機運を高める大型モニュメント【建築科】



木材の温もりと電子表示(LED)を融合させたカウントダウンボードを製作。唐ワンくんの装飾を施し、地域の開催機運を力強く牽引。

行政・市民連携：量産技術と精密加工の実践【建築科】



メダル **885個**

表彰盾 **44個**

SAGA2024 国スポ・全障スポ向けに製作。軟式野球、ソフトテニス等7競技に対応。表面には競技名と「唐ワンくん」、裏面には大会名を精密印字。高校生の枠組みを超えた高度な量産・加工技術を証明。

地域課題を解決するモノづくり【建築研究部】



佐志校区 通学路花いっぱい運動

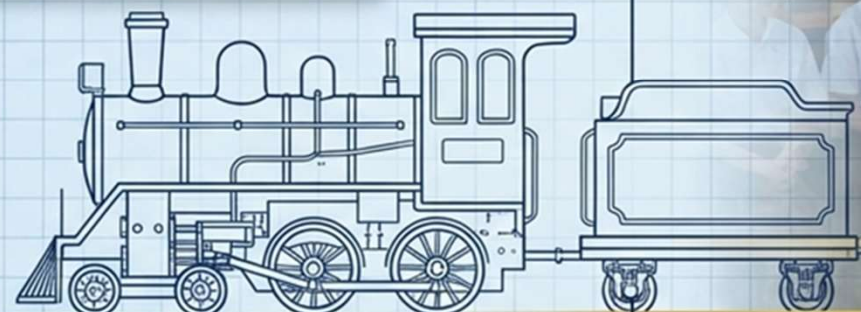
地域からの「老朽化したプランター更新」の依頼に対し、木製プランター4脚を製作・寄贈。実践的な技術を通じた地域貢献が評価され、感謝状を受領。

企業連携プロダクト開発：要件定義から現実のカタチへ

～JR九州×建築科8名による「プロ仕様」ミニトレイン製作プロジェクト～

JR九州からの挑戦状

イベントでの実用に耐えうる「プロ仕様の耐久性とデザイン」の追求。単なる模型ではなく、実働するカスタムプロダクトの開発依頼。



建築科の知見を活かした完全オリジナル設計

課題研究の授業を通じ、建築科3年生によるプロジェクトチームを結成。スタイリングから構造計算まで、ゼロからの機運を実施。

プロの遊び心と技術の融合

本物さながらの行き先表示の入れ替え機構を独自に考案・実装。イベントごとに「西唐津」などの表示を自在に切り替え可能。

プロの要求水準を超えるモノづくりの実践

木工技術を駆使し、美しい黄色と青のツートンカラー車両が完成。クライアントの要求を満たすだけでなく、学生自身のアイデアを付加価値として実装した成功事例。





地元企業との連携による 空間デザインとコンサルティング

唐津工業高校「社屋改築プロジェクト」における実践と成果

工業高校の専門技術が、地域社会のリアルな課題を解決する。

現実のビジネス課題を「生きた教材」として捉える

【地元企業の課題】

「老朽化に伴う社屋の
改築設計案を高校生
と一緒に考えたい」
というクライアント
からの強い要望。

【工業高校の専門技術】

教室での学びを越え、
実社会の課題に対して
デザインと思考の
プロセスを適応する
実践の場。

【生きた教材としての プロジェクト】

令和6・7年度
2ヶ年計画として始動。
双方が連携することで、
地域社会に新たな価値
(地域貢献)を
生み出す。

価値創造の4ステップ：依頼から社会的評価まで



現社屋

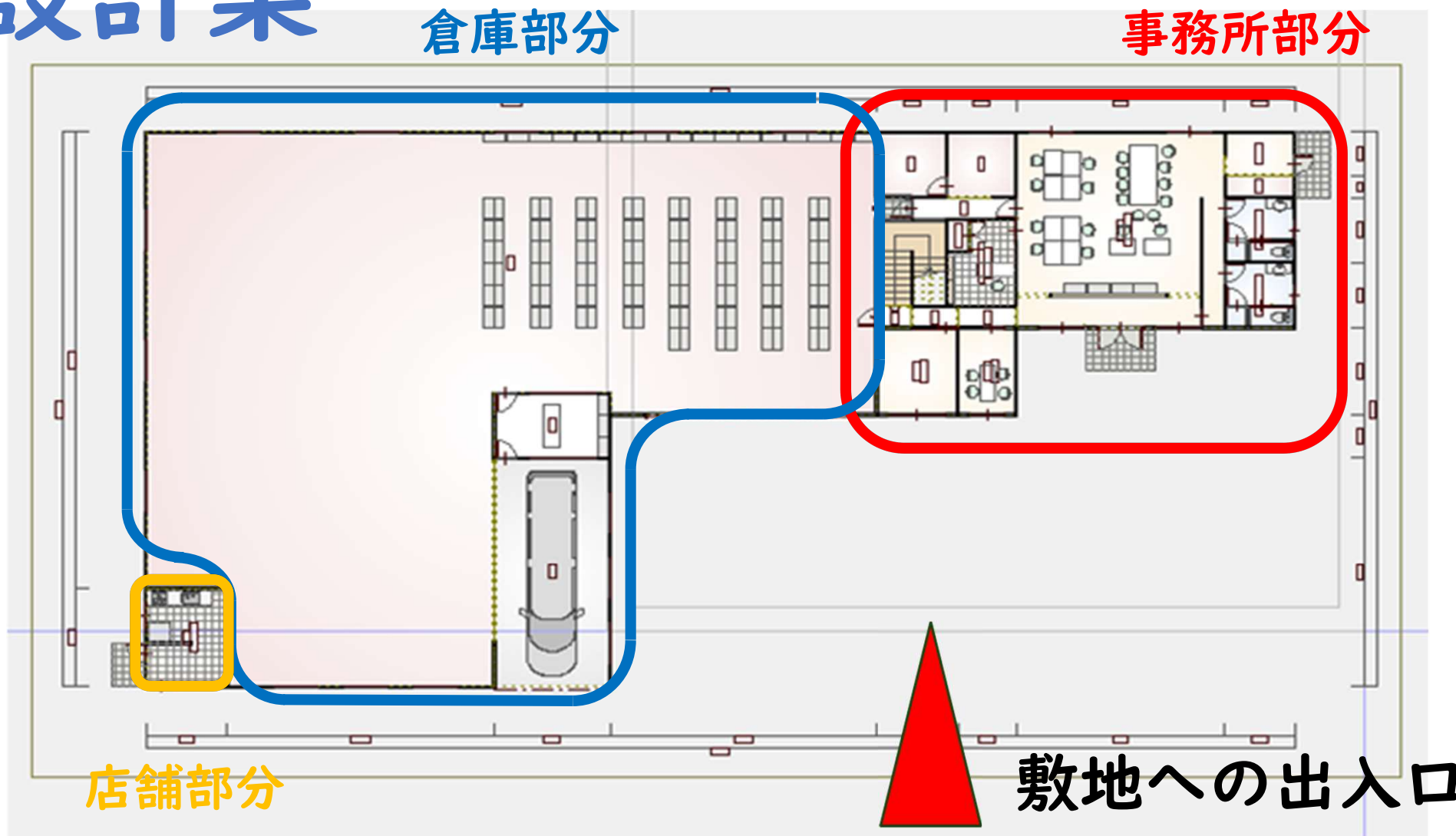
事務所部分



設計案

倉庫部分

事務所部分



面積について

	現在	設計案
敷地面積	1 5 1 0 . 6 3 0 m ²	
建築面積	4 6 7 . 9 1 7 m ²	7 0 0 . 1 5 8 m ² 約 3 2 % U P
延床面積	6 4 2 . 3 4 0 m ²	8 1 9 . 2 3 2 m ² 約 1 6 % U P
建蔽率	3 1 . 6 7 %	4 7 . 8 2 % 約 1 6 % U P
容積率	4 4 . 6 5 %	5 6 . 1 1 % 約 1 2 % U P

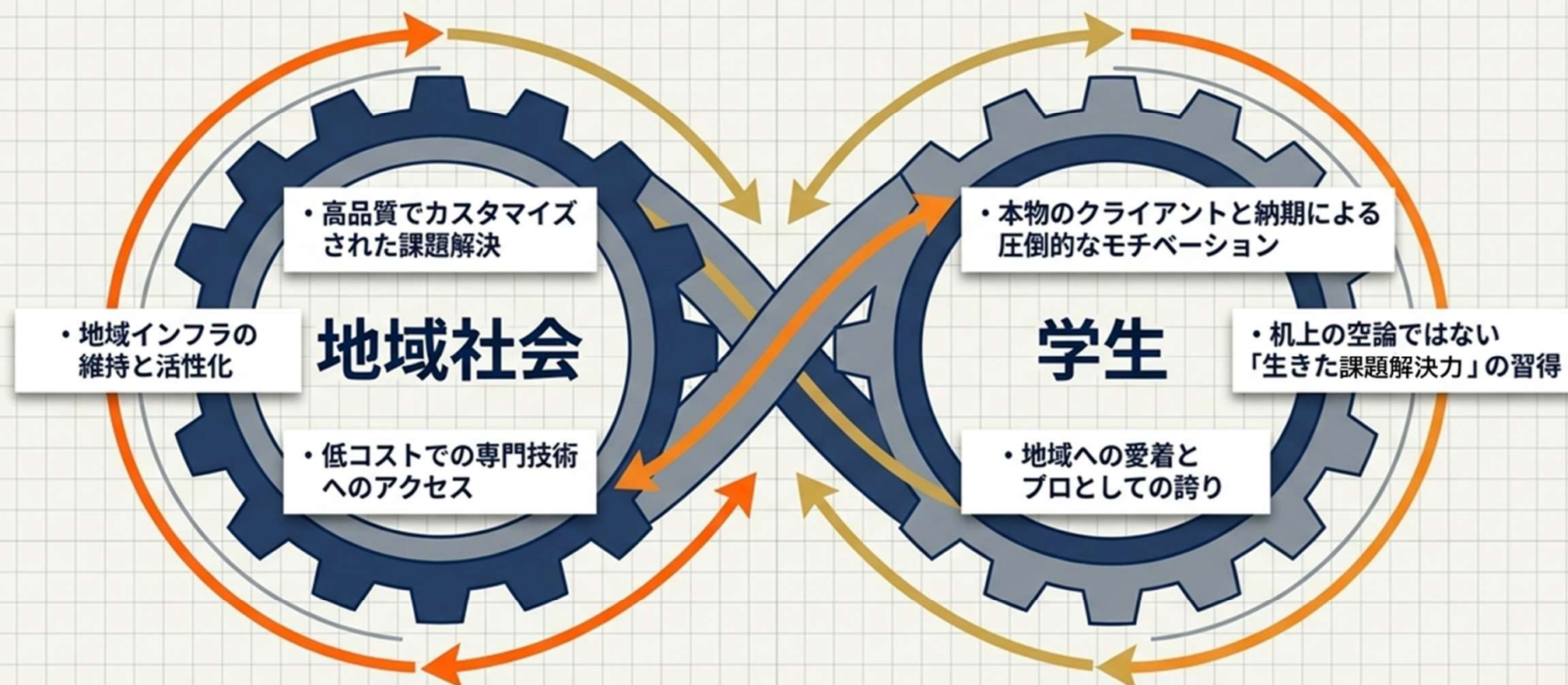
設計案（透視図）



設計案（模型）



相互成長エンジン：地域と学校のWin-Winエコシステム



この「ものづくりエコシステム」は、単なる奉仕活動ではなく、持続可能な地域発展のコア・エンジンです。